

株主の皆さまへ

第51期中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

ASAHI INTELLIGENCE SERVICE



ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える
旭情報サービス株式会社

証券コード:9799

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期の日本経済は、東日本大震災からの復興需要や経済政策効果等を背景に緩やかな回復基調にあったものの、欧州財政問題の長期化、新興国の成長減速、円高・デフレ基調の継続等により、不安定な状態で推移しました。情報サービス産業におきましても、企業等の情報化投資は一部で回復傾向にあるものの、全般的には抑制姿勢は継続しており、依然として厳しい経済環境にあります。

このような経済環境のなか、当社は本年8月に創立50周年を迎えましたが、私たちはこの節目の年を変革の年ととらえ、これからの新しい道標として「AISビジョン体系」を策定し、創業の精神、企業理念、経営指針、行動指針を掲げました。私たちはここに謳われたひとつひとつの言葉を新たな気持ちで噛み締めるとともに、自分のものとして実践し、情報社会の健全な発展に貢献してまいります。

なお、通期の業績につきましては、売上高92億円、経常利益5.3億円、当期純利益3.2億円を見込んでおり、中間配当金は1株につき15円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

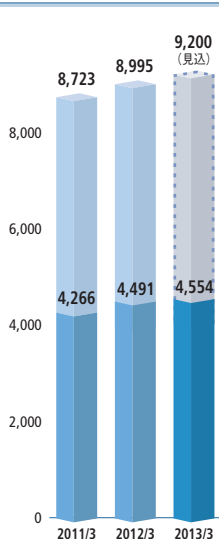
田中博

当第2四半期の概況

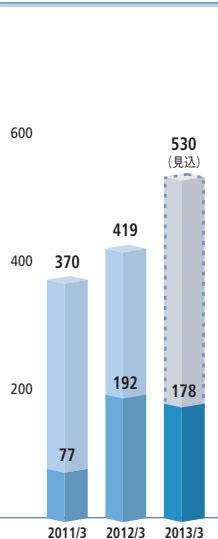
売上高 4,554百万円 (前年同期比1.4%増)
 経常利益 178百万円 (前年同期比7.3%減)
 四半期純利益 104百万円 (前年同期比12.7%減)
 総資産 7,715百万円

前期に引き続き、一括アウトソーシングの推進強化に経営資源を集中するとともに、顧客ニーズへの迅速な対応による案件獲得に注力し、技術者稼働率の向上に努めました。この結果、売上高は前年同期比で微増となったものの、当社の主要な運用業務に対する顧客のコストダウン要請は根強く、収益性は低下いたしました。今後は引き続き案件ごとの採算性向上に取り組み、収益性の向上を図ってまいります。

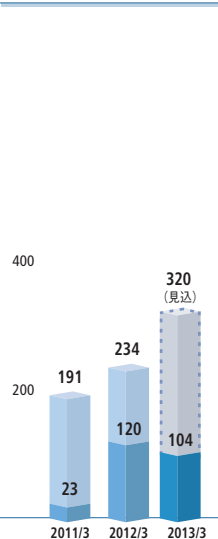
売上高



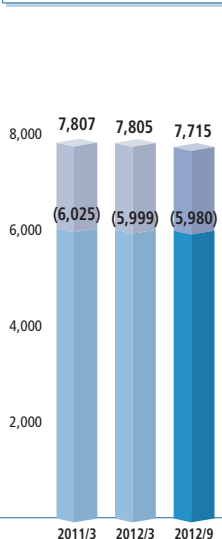
経常利益



当期純利益



総資産 / ()は純資産



ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える
旭情報サービス株式会社



創業の精神

社 是

誠

約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。

創立50周年を迎えた本年、今後のさらなる成長に向けた「AISビジョン体系」を制定いたしました。創業時からの普遍の信条である社是「誠」と五つの行動規範を「創業の精神」として第一義に位置づけ、事業活動の目的や基本姿勢、社会に対する使命を「企業理念」に謳うとともに、会社全体のベクトルを合わせるため「経営指針」、「行動指針」をそれぞれ決めました。私たちは、このAISビジョンをしっかりと具現化し、企業価値の向上と情報社会の健全な発展に貢献し、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

経営指針

人材こそ源泉

人材こそAISサービスの源泉との考えのもと、プロフェッショナルで活力ある人材を育てます。

たゆまぬ改善

たゆまぬ改善をサービスの進化につなげ、真に選ばれるベストパートナーを目指します。

挑戦する企業集団

活力ある企業集団として、時代にマッチした新しいサービスに果敢に挑戦します。

グローバルサポート

ICT社会の動向を国際的な視点で捉え、お客様企業のグローバル化をサポートします。

健全なる成長

コンプライアンスをはじめ、透明性・健全性を追求し、ステークホルダーから信頼される企業であり続けます。

行動指針

スピード

チャレンジ精神とスピーディな対応で、問題を先送りせず行動します。

自律

常に当事者意識と高い問題意識をもち、自ら考え行動します。

進化

現状に満足することなく常に自己改善し、自らを進化させます。

チームワーク

目標を共有し、安易に妥協することなく、最大の成果を求め結束します。

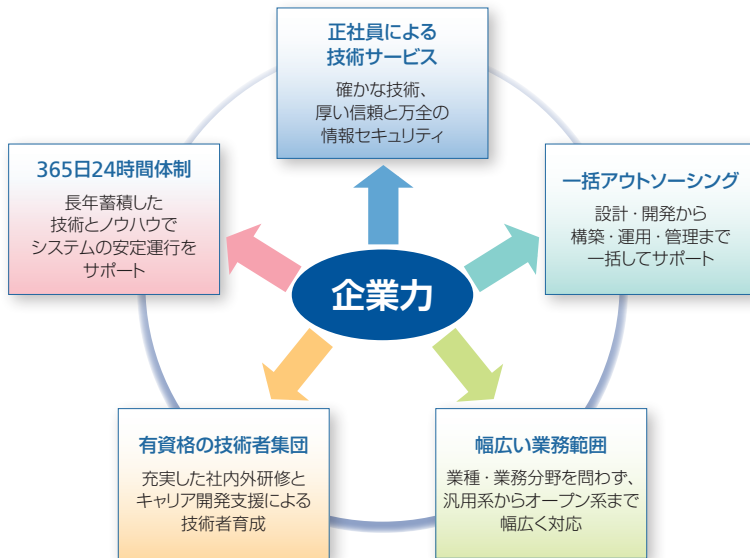
倫理

よき企業人、よき市民として、社会のルールに即して行動します。

AISの企業力

確かな技術、多種多様なノウハウと 万全の情報セキュリティ それがAISの「企業力」です

AISが目指すもの、それはお客様の満足と信頼。
AISは「技術力の向上」と「信頼性の向上」を常に
追求してきました。長年培ってきた経験と実績を
基盤にした多種多様なノウハウでもって、お客様
の視点に立った情報サービスを提供し、企業活動
の効率化と生産性向上のお手伝いをしています。



事業内容

ネットワークサービス部門

多様なネットワークニーズを幅広くサポート

企業内のネットワーク構築、運用・管理をはじめ、オープンシステムの導入、ヘルプデスクや障害対応まで幅広くサポート。
業務効率化や改善提案につながるベストパートナーとしてお客様の事業展開を推進させます。

- 企業内LAN/WANの構築、運用・管理
- 各種Windows/UNIXサーバーの構築・運用・管理
- オープンシステムの導入
- ネットワークを中心としたサービス（ヘルプ）デスク

システム開発部門

お客様の業種・業務分野を問わず、的確にサポート

企画・設計・開発から運用管理に至るまでの一貫したサポートを提供します。
またデジタル家電や携帯端末の組み込みソフト開発や検証も手がけています。

- Web系アプリケーション開発
- ERP業務コンサルティング
- ホスト系アプリケーション開発
- 組み込み開発・検証

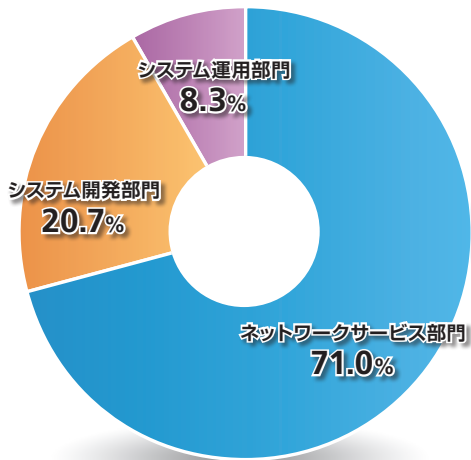
システム運用部門

365日24時間体制で、システムの安定運行をサポート

お客様に代わって、ホスト系コンピューターの維持運用を「365日24時間体制」で管理。システムの安定運行をサポートします。

- ホスト系コンピューターシステムの保守・運用・管理
- ソフトウェアのメンテナンス
- 運用構築支援
- システムの運用改善

売上高構成比率

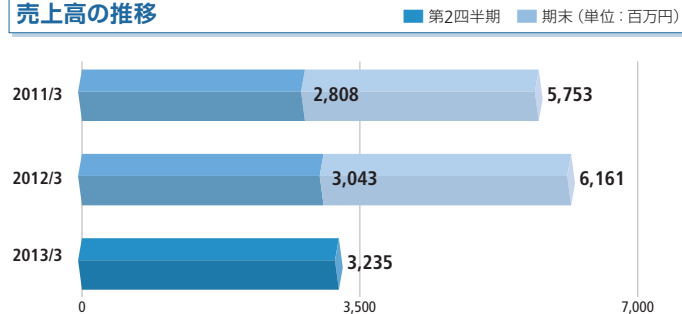


ネットワークサービス部門

当第2四半期のポイント

運用業務の効率化やコストダウンの要請は引き続き厳しかったものの、一括アウトソーシングでの受注拡大を図るとともに、当事業への技術者投入を積極的に推進した結果、売上高は3,235百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

売上高の推移



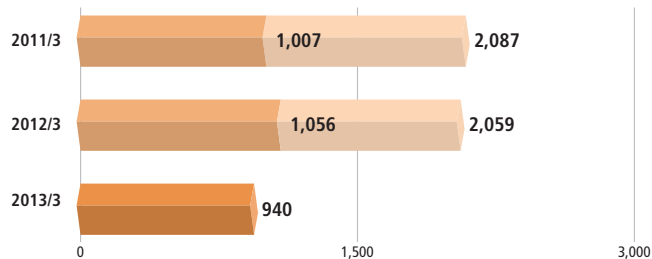
システム開発部門

当第2四半期のポイント

ERP（業務統合パッケージ）関連の案件獲得に努めたものの、組込み関連業務等の案件が低調に推移した結果、売上高は940百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

売上高の推移

■ 第2四半期 ■ 期末（単位：百万円）



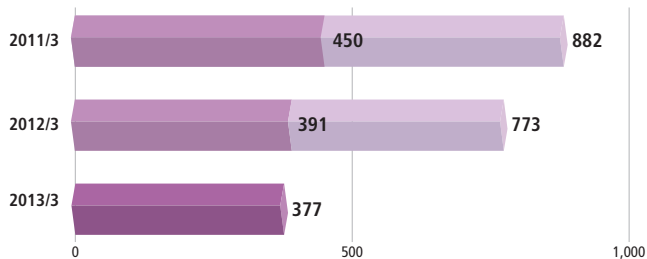
システム運用部門

当第2四半期のポイント

汎用系の運用やオペレーション業務は、市場の縮小とともに価格下落が継続していることから、汎用系技術からネットワーク系技術への移行に継続して取り組んだ結果、売上高は377百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

売上高の推移

■ 第2四半期 ■ 期末（単位：百万円）



第2四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 平成24年3月31日現在	当第2四半期 平成24年9月30日現在
資産の部		
流動資産	5,614	5,572
固定資産	2,191	2,143
有形固定資産	79	76
無形固定資産	8	13
投資その他の資産	2,102	2,053
資産合計	7,805	7,715

	前期 平成24年3月31日現在	当第2四半期 平成24年9月30日現在
負債の部		
流動負債	1,691	1,655
固定負債	114	80
負債合計	1,805	1,735
純資産の部		
株主資本	6,100	6,088
資本金	733	733
資本剰余金	624	624
利益剰余金	5,097	5,085
自己株式	△ 355	△ 355
評価・換算差額等	△ 100	△ 108
純資産合計	5,999	5,980
負債純資産合計	7,805	7,715

資産の部

売掛金41百万円の減少、前払年金費用21百万円の減少、敷金及び保証金12百万円の減少、投資有価証券10百万円の減少などにより、前期末に比べ89百万円減少し、7,715百万円となりました。

負債の部

未払法人税等25百万円の減少、未払金15百万円の減少、未払消費税等9百万円の減少などにより、前期末に比べ69百万円減少し、1,735百万円となりました。

純資産の部

四半期純利益104百万円を計上したものの、配当金116百万円の支払い、その他有価証券評価差額金7百万円の減少などにより、前期末に比べ19百万円減少し、5,980百万円となりました。

第2四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	4,491	4,554
売上原価	3,635	3,702
売上総利益	855	851
販売費及び一般管理費	674	683
営業利益	180	168
営業外収益	19	17
営業外費用	6	7
経常利益	192	178
特別利益	33	-
特別損失	33	4
税引前四半期純利益	192	174
法人税等	72	69
四半期純利益	120	104

第2四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	161	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	70	△ 101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 116	△ 116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	114	△ 101
現金及び現金同等物の期首残高	2,729	2,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,843	2,703

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期純利益174百万円、売上債権の減少41百万円、法人税等の支払額94百万円などにより、116百万円の資金獲得（前年同期は161百万円の資金獲得）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金預入による支出100百万円などにより、101百万円の資金使用（前年同期は70百万円の資金獲得）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額116百万円などにより、116百万円の資金使用（前年同期は116百万円の資金使用）となりました。

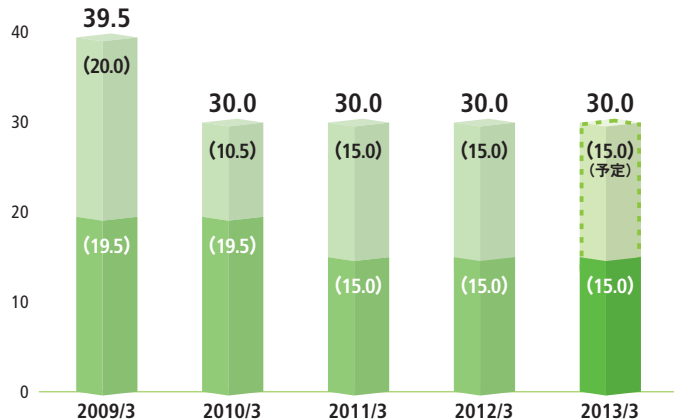
配当金についての考え方

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要政策の一つとしており、経営基盤の強化と長期的な収益の向上を維持するとともに、配当につきましては安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。

今期中間配当は、この基本方針に基づき1株につき15.0円とさせていただきます。また、期末配当は1株につき15.0円（年30.0円）を予定しております。今後も株主の皆さまのご期待に添うよう株主還元を努めてまいります。

配当金の推移

■ 中間 ■ 期末 (単位: 円)



(参考)

1株あたり 当期純利益 (円)	39.6	15.7	24.5	30.1	—
-----------------------	------	------	------	------	---

会社概要

(平成24年9月30日現在)

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	昭和37年8月7日
資本金	7億3,336万円
従業員数	1,443名
主な事業内容	当社は、主として正社員がユーザー事務所に常駐して行う、ネットワークシステムの構築・運用・管理およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、ホスト系コンピュータシステムの保守・運用・管理およびヘルプデスクなどの情報処理サービスを行っております。

役員

(平成24年9月30日現在)

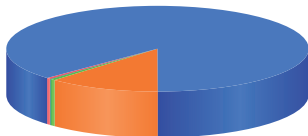
代表取締役社長	田中 博
常務取締役	根塚 隆司
取締役	濱田 広徳
取締役	高橋 範年
取締役	英保 吉弘
常勤監査役	信岡 良明
監査役	小野 一夫
監査役	三浦 州夫
監査役	増田 治美

株式の状況

発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	2,750名

所有者別株式の分布状況

	(%)
■ 個人・その他	87.04
■ 金融機関	11.73
■ 証券会社	0.52
■ 外国法人等	0.02
■ その他法人	0.69



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
旭情報サービス社員持株会	853,411	10.96
大槻幸子	390,520	5.01
三井住友信託銀行株式会社	374,000	4.80
日本生命保険相互会社	196,020	2.52
竹田和平	180,000	2.31
小野一夫	170,000	2.18
大槻武史	159,300	2.04
大槻剛康	140,930	1.81
三菱UFJ信託銀行株式会社	139,100	1.79
株式会社りそな銀行	137,680	1.77


(注)持株比率は自己株式(474,912株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先※	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先※	 0120-176-417
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座をお持ちの 株主様	お取引の証券会社にお問合せください
証券会社に口座をお持ちで ない株主様	左記電話照会先にお問合せください (三井住友信託銀行株式会社 証券代行部)
特別口座の株主様 (株券電子化以前に「ほふり」を利用 されていなかった株主様)	

＜※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。＞
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-782-031

株主懇談会について

当社は、株主の皆さまに当社の現状および今後の事業展開についてご説明し、オープンな意見交換ができるようにと、定時株主総会終了後に株主懇談会を開催しております。株主懇談会で頂戴しました多くのご意見・ご要望を今後の経営に生かし、株主の皆さまのご支援にお応えしていく所存です。

株主優待制度のご案内

贈呈基準

毎年3月31日現在で、1,000株以上お持ちの株主様に、一律郵便局の「選べるギフト」月コース（5,000円相当）のカタログギフトを贈呈しております。



郵便局の「選べるギフト」とは……

全国の特産品のほか、美容・健康、ファッション、スポーツ・アウトドアグッズなど約600点の商品の中から、ご希望商品1点をお選びいただけるカタログギフトです。

カタログ掲載商品一例



聘珍樓
中華饅頭セット



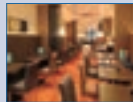
山形県産
水蜜桃



コーヒーカップ&
ソーサー5客セット



ネックレス・ペンダント・
イヤリングセット



ダロワイヨ
カフェご招待券（ペア）



日帰り温泉
ご招待券（ペア）

ASAHI INTELLIGENCE SERVICE

AIS

ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える
旭情報サービス株式会社